

# 人の尊厳損なう報道

世相を映すのが雑誌の力だ。その中心は、まさに「ヒューマン・ドキュメント」にほかならない。一人の生や死は、まさにそのひとつもわたりやすい形だ。だからといって、興味本位で扱うことで、その人の尊厳を損なうことは許されまい。それは編集者が最低限わきまを要するべき規範のほうだ。

だが、藤子さんの死をめぐっては、テレビ同様、週刊誌もこぞとばかり本人および



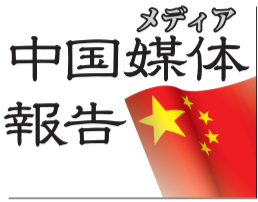
山田健太

「目録」「自報道」のあり方だ。この点はずいぶん形だ。だからといって、興味本位で扱うことで、その人の尊厳を損なうことは許されまい。それは編集者が最低限わきまを要するべき規範のほうだ。

だが、藤子さんの死をめぐっては、テレビ同様、週刊誌もこぞとばかり本人および

# 電波で日中友好ファンに惜しまれ幕

## 〔日本人が発信 ラジオ番組〕



中国で唯一、日本人が編集やパーソナリティーを手がけて放送されてきた若者向けラジオ番組が10月末で終了する。北京人民ラジオの「東京音楽広場」と「日本語Go!Go!塾」だ。尖閣諸島を巡る問題で日中関係が冷え込む中「若者が日本に好意を持つきっかけを与えてきた」と、中国人からも終了を惜しむ声が上がっている。【北京・工藤哲、写真も】

「皆さんこんにちは。我是明子(私は明子です)。東京音楽広場の時間です」。9月5日午後、北京・建国門に近い北京人民ラジオ3階のスタジオで番組の収録が始まった。パーソナリティーは中国国際放送局(北京放送)でもラジオ番組を担当した経験を持つ青樹明子さん。湖南大学で日本語を学んだ蘇然さん(30)との軽快な会話が続く。この日は、ゲストとしてグループサウンズ「ザ・タイガース」のドラマーで中国文学研究者の睡みのるさん(66)が出演。12月の復活公演や出版予定の著書が話題になった。

「東京音楽広場」は2006年12月末に始まった。きっかけは小泉純一郎元首相の靖国神社参拝問題を巡る05年の反日デモ。参加者の多くが1980年代生まれの若者だった。日本のヒット曲に加え、流行や習慣を中国で発信する中で、日本のイ

メッセージを伝えることが目的だった。中国駐在経験を持つ邦人らが中国側と調整。北京のラジオリスナーの7割が聴くとされ、河北省や天津市、山西省にも電波が届く同ラジオが協力した。日本企業ではトヨタ自動車や三菱商事、全日空、富士ゼロックス、三菱重工が支援してきた。これまでに駐中国大使や歌手の平原綾香さんらがゲスト出演した。

番組の普段のテーマは日本の歴史や「アベノミクス」といった流行語の解説だ。「サザンオールスターズ」や「嵐」などのヒット曲も流れる。

「1時間の番組構成は、約10曲の流行曲に加え、日本のベストセラー、ファッション情報など。青樹さんは番組の脚本・出演、営業活動を手一手に引き受けてきた。放送は当初週1回だったが、08年からは2回(1回は再放送)に増えた。この再放送枠を利用し、09年7月

「等身大の日本伝えたくて」

番組を通じて感じてきた中国社会的変化について、青樹さんに聞いた。

日中関係を築く仲間と共に、趣旨に賛同してくれた日本企業の寄付で、「等身大の日本の今を伝えたい」と番組を続けてきた。でも、約7年の間にリスナーの環境や中国社会は大きく変わった。

別のラジオ番組を担当していた2000年前後は、最新の日本の音楽を紹介する番組が少ない中、リスナーは主に「80後」(80年代生まれ)だった。インターネットはまだ普及しておらず、彼らは親しめられなかった。その間に日本の曲を聴いていた。

パーソナリティー 青樹 明子さん

「ザ・タイガース」のメンバー、睡みのるさん(右)をゲストに迎え、「東京音楽広場」を収録する青樹明子さん(左)。中央は蘇然さん＝北京人民ラジオで5日午後

「30は番組開始からのファンだ。中学時代は物静かだったが、ラジオで偶然放送を耳にして日本に親しむを感じ、日本語学習を実現させた。『明子』と新しい世界を教わったのことにショックを隠せない。

王さんによると、中国での韓流ブームに伴い、日本の音楽やドラマが北京話圏に人気を博している。中国と日本の関係が冷え込んでから、日本の人気スターも中国に来なくなり、日本の音楽も遠くなったと感じる」と懸念する。

「東京音楽広場」の開始に協力し、自らも地方都市で日本文化を紹介するラジオ番組に出演していた朱根全さん(45)は「日中関係の悪化で中国メディアが日本関連番組を自粛する中、青樹さんの番組を続けてほしい」との声を強く、本来日本政府などが支援すべきものではないか、番組がなくなれば、日本ファンのよりどころが失われる。中国では一度終了したと同じような番組をまた始めるのは相当難しい」と話す。

中止を決定した。中国は「近く遠い国」「似て非なる隣国」と言われるが、10年前も今も変わっていない。残念ながらも「等身大の日本」が十分に伝わっているとはまだ言えない。日本が戦後、贖罪意識を抱きながら中国に多くの支援をしてきた面は、まだ一般の中国人には理解されていない。中国人のイメージする日本は、まだ抗日ドラマの「日本帝國主義」「日本鬼子」(野蛮な日本兵)の延長線上にある。誤ったイメージを修正していくことが今後の大きな課題だ。

番組の微博は時々、かつてのリスナーが懐かしいとアクセスしてくれる。彼らがその後日本に留学したり、日本関連の仕事についたりしてくれたことが何よりの救いだ。(談)



「ザ・タイガース」のメンバー、睡みのるさん(右)をゲストに迎え、「東京音楽広場」を収録する青樹明子さん(左)。中央は蘇然さん＝北京人民ラジオで5日午後

## ネット・ウォッチ 名講演をデジタル化

古いものはオンラインのテープに保存されている。リストの照合、著作権者の了解、音源の修復などデジタル化作業は1本1カ月近くかかった。それでも担当の小松和夫、取締役総務部長(68)は「インターネットという媒体を持てたので、保存するだけではないか」と語った。講演の概要や、その当時の言葉が現在では使われていないキーワードの説明を添える。

同社は電子出版事業にも取り組んでおり、岩波文庫、岩波新書などを順次電子化している。しかし、本の電子化でなく、講演の音源を大量にネットに公開する試みは出版界では異例だ。講演は全体で約1000本あり、まだまだ素材は残っている。

ネット社会では、ベンチャー企業が新しいコンテンツを次々に送り込んでいる。しかし、過去に培った財産を生かせるのは、歴史の古い会社ならだ。ネットという技術によって、昭和の名講演が数十年前に現在にみえ始めるようになった。(栗沼均)

ご意見は千100-8051(住所不要)毎日新聞社会部メディア取材班 / ファクス 03-3212-5176 / メール t.media@mainichi.co.jp

THIS WEEK 今週の予定 2013.9.16

16 MON	17 TUE	18 WED	19 THU	20 FRI	21 SAT	22 SUN
政治・国際	政治・国際	政治・国際	政治・国際	経済	社会・スポーツ	政治・国際
<b>Point!</b> 国際原子力機関(IAEA)年次総会(20日まで、オーストリア・ウィーン)	国連総会開幕(ニューヨーク)	環太平洋パートナーシップ協定(TPP)の首席交渉官会合(21日まで)	山本一太沖繩・北方担当相が国後、択捉両島を訪問(23日まで)	8月の全国百貨店売上高	秋の全国交通安全運動スタート(30日まで)	ドイツ総選挙
社会・スポーツ	経済	社会・スポーツ	CHECK! NTTドコモが初めて取り扱いを開始し、ソフトバンクモバイル、KDDI(au)とのサービス競争に注目	8月の主要コンビニ売上高	賢治祭(岩手県花巻市)	CHECK!メルケル首相率いるキリスト教民主・社会同盟の第1勢力は確実。連立与党が過半数の議席を取れるかが焦点
レスリング世界選手権(22日まで、ハンガリー・ブダペスト)	米連邦公開市場委員会(FOMC、18日まで)	サッカー・アジア・チャンピオンズリーグ準々決勝第2戦アルジャバフ・柏(サウジアラビア・リヤド)	経済	米アップルのスマートフォン「iPhone」の新機種発売	卓球女子ワールドカップ(23日まで、神戸市立中央体育館)	岡山市長選告示
鶴岡八幡宮流鏝馬神事(神奈川県鎌倉市)	東日本大震災の津波で幼稚園(宮城県石巻市)の送迎バスに乗っていた園児が死亡した事故で、遺族が園側の責任を問う損害賠償を求めた訴訟の判決(仙台地裁)	経済	標準地価	8月の貿易統計	テニスの東レ・パンパシフィック・オープン(28日まで、東京・有明テニスの森公園)	社会・スポーツ
8月の米鉱工業生産指数	JR東海がリニア中央新幹線東京-名古屋の詳細ルート発表	8月訪日外国人旅行者数	基礎地価	8月の貿易統計	テニスの東レ・パンパシフィック・オープン(28日まで、東京・有明テニスの森公園)	社会・スポーツ
7日の東京開催決定に続き国際オリンピック委員会は総会第2日、2020年夏季五輪で実施する競技の最後の1枠にレスリングを選ぶ	東京地検は福島第1原発事故で業務上過失致死傷などの容疑で告訴・告発された当時の東京電力幹部や菅直人元首相ら42人を不起訴	オバマ米大統領はシリアの化学兵器を国際管理するロシア案を受け国連安保理で廃棄決議を目指す演説。シリア外相も全廃を表明	カネボウ化粧品は美白化粧品の「白班」被害について外部弁護士による調査報告書を公表。対応の遅れを「消費者は後回し」と批判	安倍晋三首相は予定通り来年4月に消費税を8%に引き上げる方針を固めた。シリアのアサド大統領が化学兵器の引き渡しを表明	プロ野球・楽天の田中将大投手(24)がシーズン21連勝のプロ野球新記録を達成。昨年8月からの連勝も25に伸ばし自らの記録を更新	プロ野球・ヤクルトのウラディミール・パレンティン外野手(29)がシーズン最多本塁打の56号を放ちプロ野球新記録。57号も放った

海外の予定は現地時間

ここが Point! ウィーン支局・樋口直樹 16 MON 国際原子力機関(IAEA)の年次総会開幕

「汚染水」不安解消 原子力の平和利用と核兵器の拡散を抑制する国際原子力機関(IAEA)の年次総会が16日、ウィーンで開催される。東京電力が福島第1原発の汚染水漏れ問題に説明し理解を求め、海洋汚染の可能性を懸念している「(原子力安全の分野で)汚染水問題を取り上げた国は(発言の)3分の1くらいだった」と語ったIAEAの天野之弥事務局長は「IAEAの天野之弥事務局長は今年9月の定例会事で、日本が東土浦水壁の設置や浄化装置の開発などに国費470億円を投入することを「重要な一歩」と評価した。だが、今年4月に拡大解釈による誤解を解く機

会にもなることから、今回の総会には原子力規制委員会の田中俊一委員長も出席。詳細な技術情報を基に、各国の担当者へ事情を説明したり、原発の安全管理の専門家らを対象としたセミナーを開いたりする。中東の非核化に向けた動きも注目される。アラブ諸国が事実上の核武装国「イスラエル」に対して、核拡散防止条約(NPT)への加盟や全面的な核査察の受け入れを迫る決議案を3年ぶりに提出する。イスラエルは「NPTの核開発を批判する一方で、2010年のNPT再検討会議で同意された中東非核化国際会議の実現には消極的。決議案の提出により、非核化構想の前進を占う論戦が行われる見通しだ。」

ここで切り離すと、左はA4、右はA5サイズに収まります